

Cisco Nexus Hyperfabric : USB ドライブを使用して Cisco 6000 シリーズ スイッチをリカバリする

USB ドライブを使用して Cisco 6000 シリーズ スイッチを復元する

この記事では、USB ドライブを使用して Cisco 6000 シリーズ スイッチを復元する手順について説明します。スイッチが応答しなくなり、ログイン画面でスタックしたままになるなどの問題が発生した場合、機能を復元するにはリカバリが必要です。このプロセスでは、更新されたエージェントを含む Cisco Nexus Hyperfabric OS イメージでスイッチをリロードします。

サポートされているハードウェア システムおよびソフトウェア バージョン

USB リカバリは、一部の BIOS バージョンでのみ使用できます。互換性を確認するには、システムの再起動後にバナーに表示される BIOS のバージョンを確認します。

表 1: サポートされているハードウェア モデルと最小 BIOS バージョン

ハードウェアモデル	BIOS の最小バージョン
HF6100-32D	15.03
HF6100-60L4D	5.08

USB リカバリ ドライブの準備とスイッチのリカバリの前提条件

USB ドライブを準備するための前提条件

USB ドライブの準備として、次のものを用意してください。

- USB ドライブにブート可能イメージを作成できるサードパーティ製ソフトウェア。Rufus や BalnaEtcher などの無料のオープンソースユーティリティは、Windows、Mac、Linux で使用でき、インターネットからダウンロードできます。
- 32GB 以上の容量を備え、USB 3.0 をサポートする USB ドライブ
- Cisco ソフトウェア ダウンロード サイトから特定の Cisco 6000 シリーズ スイッチのリカバリ イメージ (.tar) をダウンロードし、次のファイルを解凍します。
 - Cisco 6000 シリーズ スイッチ モデル リカバリ ファイル :
 - SONiC.202405c.2.1.1-0.HF6100-32D.img
 - SONiC.202405c.2.1.1-0.HF6100-60L4D.img

- **readme.txt** (ファイルの完全性を検証するMD5 チェックサムを含む)

スイッチを復元するための前提条件

準備したUSB ドライブを使用してスイッチを復元する前に、同じファブリック内のすべてのスイッチでバージョン **20250828** が実行されていることを確認してください。ファブリックが実行されていない場合は **20250828**、ファブリックをアップグレードする必要があります ([ソフトウェア ライフサイクル管理](#) を参照)。

USB リカバリ ドライブの準備

ブート可能 USB ドライブを作成するには、次の手順に従います。

ステップ 1 USB ドライブをコンピュータに接続し、デバイスが接続されていることを確認します。

ステップ 2 リカバリするプラットフォームの .img リカバリ イメージからブート可能 USB ドライブを作成するために、サードパーティの電力事業を活用。サポートされているプラットフォームで使用可能なリカバリ イメージは次のとおりです。

- HF6100-32D スイッチを復元するための **SONiC.202405c.2.1.1-0.HF6100-32D.img**
- HF6100-60L4D スイッチを復元するための **SONiC.202405c.2.1.1-0.HF6100-60L4D.img**

ステップ 3 USB ドライブをコンピュータから安全に取り出します。

USB ドライブを使用して Cisco 6000 シリーズ スイッチをリカバリすることができます。

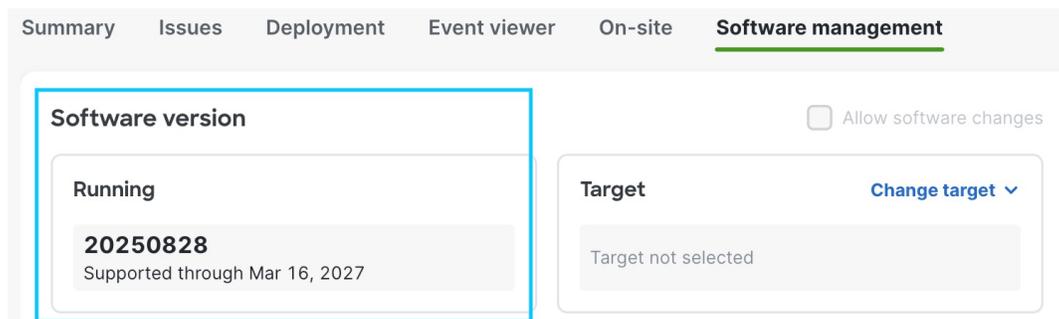
準備されたUSBドライブを使用してスイッチを復元する

USB ドライブを使用して Cisco 6000 シリーズ スイッチを復元するには、次の手順に従います。

ステップ 1 スイッチを復元する予定のファブリックで、ソフトウェアバージョン **20250828** が実行されていることを確認します。

ファブリックを選択して [**ソフトウェア管理 (Software management)**] をクリックすると、Nexus Hyperfabric で実行中のソフトウェアバージョンを識別できます。ファブリックが **20250828** を実行していない場合は、ファブリックをアップグレードします ([ソフトウェアライフサイクル管理](#) を参照)。

図 1: ファブリック ソフトウェア バージョン



ステップ 2 準備した USB ドライブを スイッチに挿入します。

特定の Cisco 6000 シリーズ スイッチのモデル マニュアルを参照して、USB ポートの場所を確認してください。サポート対象のモデルは次のとおりです。

- [HF6100-60L4D](#)
- [HF6100-32D](#)

ステップ 3 スイッチの電源を再投入して、リカバリ プロセスを開始します。

- a) リカバリの間に、BIOSバージョンが [サポートされているハードウェア システムおよびソフトウェア バージョン \(1 ページ\)](#) に記載されているスイッチ モデルに一致するか、またはそれを超えていることを確認します。例：

```
Cisco HyperFabric 6000 Series BIOS Ver 15.03 Primary Intel(R) Xeon(R) CPU D-1530 @ 2.40GHz Cisco  
Confidential Board Type 0x107 PID HF6100-32D Serial FLM282802DA X86FPGA 1.89.0 TamLib 5.01.01  
USB から起動
```

- b) リカバリプロセス中に、システムは Cisco 6100 シリーズ スイッチ イメージを検索してインストールします。

図 2: リカバリ イメージのインストール

```
ONIE: Starting ONIE Service Discovery  
Info: Found static url: /mnt/onie-boot/sonic/sonic_recovery.bin  
ONIE: Executing installer: /mnt/onie-boot/sonic/sonic_recovery.bin
```



(注)

システムは、ブートプロセス中に必要なオプションを自動的に選択します。次の手順の開始画面が表示されるまで、リカバリ シーケンスを中断しないでください。

- c) 開始画面が表示され、インストールとリカバリが成功したことを確認します。

図 3: 開始画面

```
SONiC
-- Software for Open Networking in the Cloud --
Unauthorized access and/or use are prohibited.
All access and/or use are subject to monitoring.
Help:  https://sonic-net.github.io/SONiC/
Last login: Mon May 19 19:38:05 UTC 2025 on ttyS0
```

- d) スイッチが USB ドライブから正常に起動したら、デフォルトログイン情報でスイッチにログインします。
- ユーザー名 : ttg-admin
 - パスワード : hfabric2025

ステップ 4 回復したスイッチにアウトオブバンド (OOB) 管理イーサネットインターフェイスを介したインターネット接続がある場合は、メイン コンソールの [[設定の変更 Configuration](#)] オプションを使用して、失われたインターネットアクセス構成を復元します。

ステップ 5 リカバリ後に、スイッチから USB ドライブを取り外します。



(注)

USB ドライブを取り外すのを忘れた場合、スイッチは引き続き USB ドライブから起動し、各再起動後にリカバリ手順を再度実行します。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。